

令和元年度 財政状況資料集

総括表（都道府県）

都道府県名	佐賀県		職員の状況				区分		令和元年度(千円)	平成30年度(千円)	区分		令和元年度(千円・%)	平成30年度(千円・%)				
			区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)		歳入総額	歳出総額	実質収支比率	経常収支比率	財政力指数	公債費負担比率	健全化判断比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率(※4)
グループ	D		知事	1	12,600		歳入歳出差引	11,089,689	9,899,598	(※1)	(100.5)	(100.6)						
人口	平成27年国調(人)	832,832	副知事	2	9,900		翌年度に繰越すべき財源	5,610,462	4,501,651	標準財政規模	255,840,916	256,811,655						
	平成22年国調(人)	849,788	教育長	1	7,600		実質収支	5,479,227	5,397,947	財政力指数	0.35017	0.34647						
	増減率(%)	-2.0	議会議長	1	9,900		単年度収支	81,280	652,146	公債費負担比率	19.8	20.5						
住民基本台帳人口(※6)	令02.01.01(人)	823,810	議会副議長	1	8,600		積立金	2,675,639	2,354,500	健全化判断比率								
	うち日本人(人)	816,605	議会議員	36	8,000		繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-						
	平31.01.01(人)	828,781	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	積立金取崩し額	537,413	2,330,000	連結実質赤字比率	-	-						
	うち日本人(人)	822,443	一般職員	4,063	13,245,380	3,260	実質単年度収支	2,219,506	676,646	実質公債費比率	9.0	9.4						
	増減率(%)	-0.6	うち消防職員	-	-	-	基準財政収支入額	79,143,975	76,919,808	将来負担比率	115.0	111.6						
	うち日本人(%)	-0.7	うち技能労務職員	83	268,671	3,237	基準財政需要額	222,612,057	218,896,208									
面積(km ²)	2,441		警察官	1,735	5,453,105	3,143	標準税収入額等	98,979,536	96,278,217									
人口密度(人/km ²)	338		教育公務員	7,457	27,468,085	3,684	経常経費充当一般財源等	244,543,461	243,321,016									
世帯数(世帯)	302,109		臨時職員	-	-	-	歳入一般財源等	301,321,589	301,823,722									
			合計	13,255	46,166,570	3,483	地方債現在高	697,351,046	698,339,363									
			ラスバイレス指数			100.0	うち公的資金	240,647,991	259,460,656									
							債務負担行為額(支出予定額)	39,453,452	29,111,311									
							収益事業収入	2,080,602	2,007,587									
							定額運用基金	16,825,717	18,812,760									
							土地開発基金	12,703,751	14,693,524									
							積立金現在高	6,041,324	6,734,593									
							財政調整基金	17,020,334	14,882,108									
							減債基金	6,041,324	6,734,593									
							その他特定目的基金	25,265,993	25,092,158									

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(11)	国民健康保険事業特別会計	(12)	佐賀県工業用水道事業会計	(13)	佐賀県港湾整備事業特別会計			(15)	佐賀県国際交流協会	
(2)	災害救助基金特別会計					(14)	佐賀県産業用地造成事業特別会計			(16)	佐賀県女性と生涯学習財団	
(3)	母子父子寡婦福祉資金特別会計									(17)	佐賀県地域福祉振興基金	
(4)	就農支援資金特別会計									(18)	佐賀県長寿社会振興財団	
(5)	小規模企業者等設備導入等事業支援特別会計									(19)	佐賀県職労バンク	
(6)	財政調整積立金特別会計									(20)	佐賀県食鳥肉衛生協会	
(7)	証紙特別会計									(21)	佐賀県芸術文化協会	
(8)	土地取得特別会計									(22)	佐賀県地域産業支援センター	
(9)	林業改善資金特別会計									(23)	佐賀県農業公社	○
(10)	沿岸漁業改善資金特別会計									(24)	佐賀県森林整備担い手育成基金	

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※6: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況（都道府県）

歳入の状況（単位 千円・％）				道府県税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	104,510,377	23.2	84,648,896	34.8	普通税	104,401,767	99.9	643,488
地方譲与税	14,614,797	3.2	14,614,797	6.0	法定普通税	101,037,388	96.7	643,488
地方揮発油譲与税	1,344,204	0.3	1,344,204	0.6	道府県民税	27,541,025	26.4	643,488
地方道路譲与税	1	0.0	1	0.0	個人均等割	817,370	0.8	202,990
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	22,732,056	21.8	-
石油ガス譲与税	64,902	0.0	64,902	0.0	法人均等割	982,563	0.9	47,006
自動車重量譲与税	54,989	0.0	54,989	0.0	法人税割	2,189,062	2.1	393,492
航空機燃料譲与税	19,272	0.0	19,272	0.0	利子割	137,635	0.1	-
地方法人特別譲与税	13,103,427	2.9	13,103,427	5.4	配当割	446,250	0.4	-
森林環境譲与税	28,002	0.0	28,002	0.0	株式等譲渡所得割	236,089	0.2	-
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	事業税	20,502,294	19.6	-
地方特例交付金等	1,137,970	0.3	1,137,970	0.5	個人分	922,209	0.9	-
個人住民税減収補填特例交付金	415,537	0.1	415,537	0.2	法人分	19,580,085	18.7	-
自動車税減収補填特例交付金	58,186	0.0	58,186	0.0	地方消費税	29,580,089	28.3	-
子ども・子育て支援臨時交付金	664,247	0.1	664,247	0.3	不動産取得税	1,787,274	1.7	-
地方交付税	145,518,058	32.3	142,191,243	58.4	道府県たばこ税	984,092	0.9	-
普通交付税	142,191,243	31.5	142,191,243	58.4	ゴルフ場利用税	281,845	0.3	-
特別交付税	3,319,673	0.7	-	-	自動車取得税	613,888	0.6	-
震災復興特別交付税	7,142	0.0	-	-	軽油引取税	9,186,394	8.8	-
（一般財源計）	265,781,202	58.9	242,592,906	99.7	自動車税	10,560,256	10.1	-
交通安全対策特別交付金	337,265	0.1	337,265	0.1	鉱区税	231	0.0	-
分担金・負担金	3,610,825	0.8	-	-	固定資産税特例	-	-	-
使用料	4,490,347	1.0	315,582	0.1	法定外普通税	3,364,379	3.2	-
手数料	1,529,989	0.3	-	-	目的税	108,610	0.1	-
国庫支出金	62,652,479	13.9	-	-	法定目的税	8,958	0.0	-
国有提供交付金	-	-	-	-	狩猟税	8,958	0.0	-
財産収入	1,325,542	0.3	13,713	0.0	法定外目的税	99,652	0.1	-
寄附金	1,001,101	0.2	-	-	旧法による税	-	-	-
繰入金	8,462,472	1.9	-	-	合計	104,510,377	100.0	643,488
繰越金	9,899,598	2.2	-	-				
諸収入	33,194,241	7.4	44,817	0.0				
地方債	58,726,040	13.0	-	-				
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	14,670,000	3.3	-	-				
歳入合計	451,011,101	100.0	243,304,283	100.0				

区分		令和元年度		平成30年度	
徴収率 (%)	現計	99.3	99.0	99.3	98.9
	道府県民税	99.2	97.9	99.2	97.8
	事業税	99.9	99.7	99.9	99.7
国民健康保険 実質収支		1,727,419		1,370,532	
事業会計の状況 再差引収支		1,765,138		1,370,532	

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	1,056,564	0.2	-	1,056,564	-
総務費	30,661,427	7.0	6,862,225	21,244,857	21,244,857
民生費	67,062,647	15.2	1,947,464	58,148,114	58,148,114
衛生費	13,013,442	3.0	1,647,619	8,951,246	8,951,246
労働費	1,354,405	0.3	133,512	591,047	591,047
農林水産業費	34,728,618	7.9	24,005,379	12,184,782	12,184,782
商工費	31,755,223	7.2	1,667,020	8,157,972	8,157,972
土木費	56,571,653	12.9	49,917,166	13,160,420	13,160,420
警察費	21,311,982	4.8	1,072,893	19,385,787	19,385,787
消防費	-	-	-	-	-
教育費	98,928,050	22.5	6,543,813	74,005,814	74,005,814
災害復旧費	4,816,780	1.1	-	8,157,972	8,157,972
公債費	62,906,659	14.3	-	59,624,005	59,624,005
諸支出金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
利子割交付金	83,894	0.0	-	83,894	83,894
配当割交付金	265,067	0.1	-	265,067	265,067
株式等譲渡所得割交付金	140,047	0.0	-	140,047	140,047
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	-
地方消費税交付金	14,568,231	3.3	-	14,568,231	14,568,231
ゴルフ場利用税交付金	196,100	0.0	-	196,100	196,100
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	-
自動車取得税交付金	404,089	0.1	-	404,089	404,089
軽油引取税交付金	-	-	-	-	-
自動車税環境性能割交付金	96,534	0.0	-	96,534	96,534
特別区財政調整交付金	-	-	-	-	-
歳出合計	439,921,412	100.0	93,797,091	292,332,703	292,332,703
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	197,448,663	44.9	171,927,661	170,260,226	66.0
人件費	122,732,386	27.9	106,057,419	104,397,359	40.5
うち職員給	89,302,431	20.3	77,822,555	77,822,555	30.2
扶助費	11,811,731	2.7	6,248,350	6,240,975	2.4
公債費	62,904,546	14.3	59,621,892	59,621,892	23.1
元利償還金	62,904,476	14.3	59,621,822	59,621,822	23.1
うち元金	59,714,357	13.6	56,643,762	56,643,762	22.0
うち利子	3,190,119	0.7	2,978,060	2,978,060	1.2
一時借入金利子	70	0.0	70	70	0.0
その他の経費	143,858,878	32.7	103,615,766	74,283,235	28.8
物件費	17,351,729	3.9	13,266,308	10,713,312	4.2
維持補修費	2,173,568	0.5	1,275,856	1,228,190	0.5
補助費等	86,969,925	19.8	78,406,630	56,852,426	22.0
繰出金	5,585,089	1.3	5,520,701	5,481,926	2.1
積立金	7,578,490	1.7	5,086,267	-	-
投資及び出資金	351,087	0.1	87	-	-
貸付金	23,848,990	5.4	59,917	7,381	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	98,613,871	22.4	16,789,276	-	-
うち人件費	1,308,105	0.3	253,423	-	-
普通建設事業費	93,797,091	21.3	16,721,143	-	-
うち補助	46,897,366	10.7	1,489,112	-	-
うち単独	36,850,485	8.4	14,112,787	-	-
災害復旧事業費	4,816,780	1.1	68,133	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	439,921,412	100.0	292,332,703	-	-

（注釈）

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

令和元年度 佐賀県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	459,639	449,716	9,923	5,389	8,007	683,355	
2 災害救助基金特別会計	930	930	-	-	697	-	
3 母子父子寡婦福祉資金特別会計	227	180	47	-	8	7	
4 就農支援資金特別会計	179	40	139	-	0	179	
5 小規模企業者等設備導入等事業支援特別会計	2,216	2,128	88	-	4	1,093	
6 財政調整積立金特別会計	3,213	3,213	-	-	3,199	-	
7 証紙特別会計	2,769	2,678	90	90	-	-	
8 土地取得特別会計	2,273	2,272	1	-	2,191	-	
9 林業改善資金特別会計	153	15	138	-	0	-	
10 沿岸漁業改善資金特別会計	370	86	284	-	0	-	
11 公債管理特別会計	94,994	94,994	-	-	59,808	-	
12 育英資金特別会計	937	557	380	-	3	-	
13 地方独立行政法人佐賀県農産センター好生園貸付金特別会計	1,377	1,377	-	-	-	13,305	
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							

(3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

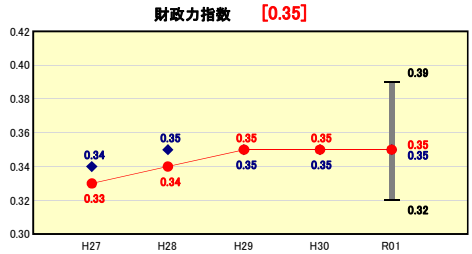
令和元年度 佐賀県

人口	823,810	人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	816,605	人(R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	2,440.70	km ²	実質公債費比率	9.0	%
歳入総額	451,011,101	千円	将来負担比率	115.0	%
歳出総額	439,921,412	千円	グループ	H27 D H28 D H29 D H30 D	
実質収支	5,479,227	千円	(年度毎)	H30 D R01 D	
標準財政規模	255,840,916	千円			
地方債現在高	697,351,046	千円			



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 (Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満)
 ※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。

財政力

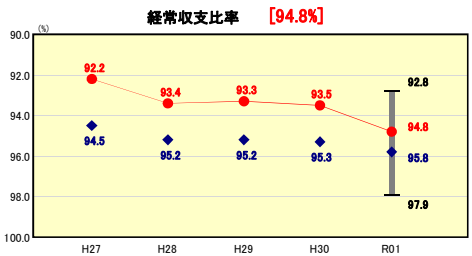


財政力指数の分析欄

基準財政需要額、基準財政収入額ともに増加したことにより、財政力指数は増減はなく、またグループ内平均の0.35である。これは、臨時財政対策債償還相当額が減少したことにより基準財政需要額が増加したとともに、消費税率の引上げによる地方消費税の増加により基準財政収入額も増加したためである。

今後、社会保障関係経費の増高や、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた施設整備等をはじめとした将来の佐賀の発展のために必要な大型事業の実施により歳出の増加が見込まれるため、県税収入をはじめとする歳入確保対策の強化や徹底した歳出の見直し等を行うことで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

財政構造の弾力性

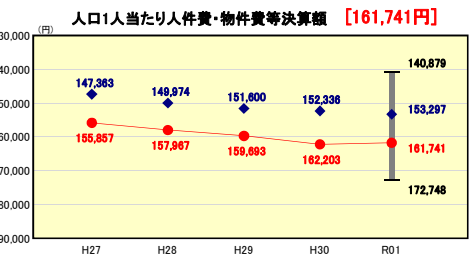


経常収支比率の分析欄

経常収支比率は、グループ内平均に比べると良好な数字であるが、R元年度は、補助費等の増など、経常的に支出される経費に充当した一般財源が増加したこと、地方債と税の減など、経常的な歳入が減少したことにより、1.3ポイント悪化した。

今後も、子ども・子育て支援の充実や医療・介護サービス保障の強化等により、社会保障関係経費が増加することや、公債費が引き続き高い水準で推移することが見込まれ、財政構造の硬直化が懸念されることから、「佐賀県行財政運営計画2019」に基づき、財政健全化を図っていく。

人件費・物件費等の状況

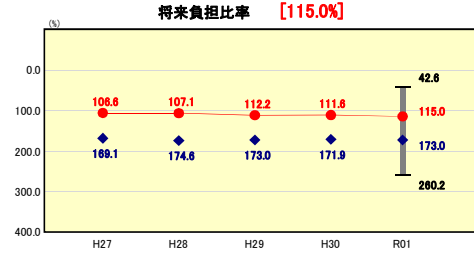


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

グループ内平均と比較して高い水準となっているが、これは人口10万人当たり職員数が類似団体と比較して多いことが主な要因である。

引き続き、「佐賀県行財政運営計画2019」の取組にもある総人件費の適切な管理に基づき、効率的かつ機動的な人員配置により、限られた経営資源の効率的な活用を図り、職員給与等においては、国や他県の状況、社会情勢を踏まえ、必要に応じて適切な見直しを行う。

将来負担の状況

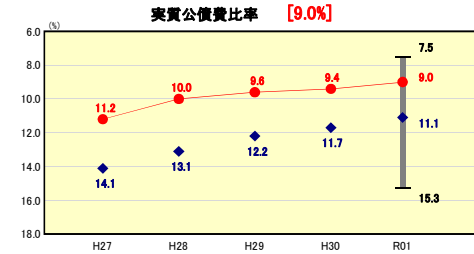


将来負担比率の分析欄

将来負担比率は、都道府県平均、グループ内平均を下回っている状況にある。R元年度が3.4ポイント上昇した主な要因は、将来負担額に充当可能な特定財源見込額の減や、地方債現在高等にかかる交付税措置見込額の減である。

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催にむけた施設整備をはじめとした将来の佐賀の発展のために必要な大型事業の実施による県債発行の増加が見込まれるため、県税収入をはじめとする歳入確保対策の強化や徹底した歳出の見直し等を行うことで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

公債費負担の状況

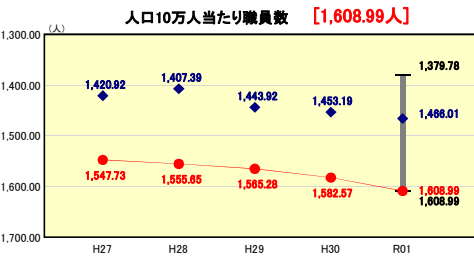


実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率は、都道府県平均、グループ内平均を下回っている状態にある。R元年度が0.4ポイント改善した主な理由は、公債費の減少や、国営土地改良事業負担金等の減少による公債費に準ずる債務負担行為の減少である。

今後、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催にむけた施設整備をはじめとした将来の佐賀の発展のために必要な大型事業の実施による県債発行の増加に伴い、後年度の公債費の増加が見込まれるため、30年償還の県債を発行し、公債費の平準化を図るとともに、後年度に財政措置のある地方債を活用するなど歳入確保対策の強化や徹底した歳出の見直し等を行うことで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

定員管理の状況



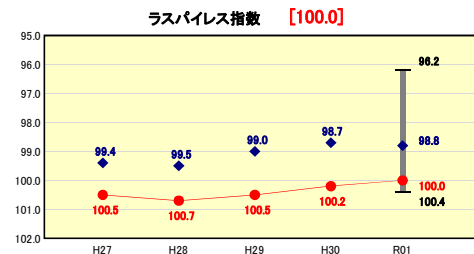
人口10万人当たり職員数の分析欄

「行財政改革緊急プログラムVer2.1」により、知事部局一般会計職員については、平成16年4月1日を基準とし、平成23年4月1日までに純減数500名、純減率14.2%を目標に取り組み、純減数522名、純減率14.8%と目標を上回る成果が出たところである。ただし、同一グループの他団体に比べて人口規模が小さく、人口10万人当たり職員数は相対的に多くなる傾向にある。

このため、平成23年10月に策定した「佐賀県行財政運営計画2011」では、これまでのように数値目標を掲げたものとはせず、適正な定員管理や給与管理などにより総人件費の増高の抑制を図ることとした。また、平成27年7月に策定した「佐賀県行財政運営計画2015」では、効率的で機動的な人員配置により、限られた経営資源の効率的な活用を図ってきたが、「佐賀県行財政運営計画2019」においても、同様の取組を継続していく。

なお、令和6年に佐賀で開催される国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会に向け職員数が増えるもの、引き続き、定員管理を徹底し、適正な職員数を維持していく。

給与水準 (国との比較)



ラスパイレース指数の分析欄

本県のラスパイレース指数は、近年、減傾向にあり、直近においては前年から0.2ポイント改善している。

平成27年度の給与と制度の総合的見直し以降、国家公務員は、主に手当を引き上げることにより官民格差を解消したところ、本県は、主に給料を引き上げることによって格差を解消することとしていたことから、給料のみを比較するラスパイレース指数は高止まりの状況が続いていた。

その後、本県の給与と改定が、国の改定率よりも低い率での改定となったこと等により、改善している。

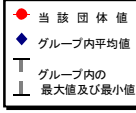
(4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

令和元年度

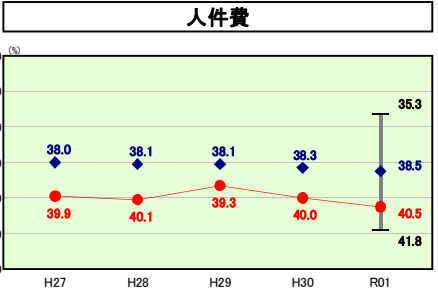
佐賀県

経常収支比率の分析

人口	823,810	人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	816,605	人(R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	2,440.70	km ²	実質公債費比率	9.0	%
歳入総額	451,011,101	千円	将来負担比率	115.0	%
歳出総額	439,921,412	千円			
実質収支	5,479,227	千円	グループ	H27 D H28 D H29 D	
標準財政規模	255,840,916	千円	(年度毎)	H30 D R01 D	
地方債現在高	697,351,046	千円			

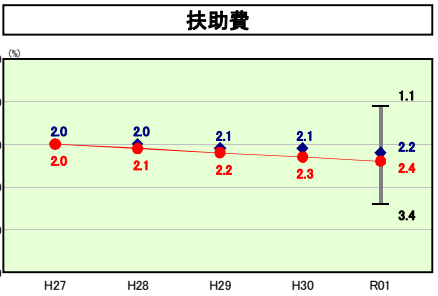


※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1,000以上、Bグループ 0.500以上1,000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



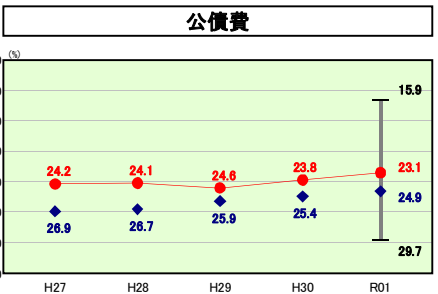
人件費の分析欄

R元年度は、人件費の歳出決算額自体は減少したが、退職手当基金を充当しなかったことによる相対的な一般財源の増や、分母となる経常一般財源等総額が、臨時財政対策債の減により、減少したことにより、経常収支比率は0.5ポイント上昇している。
 グループ内平均に比べ高い割合で推移しているため、引き続き、総人件費の適切な管理に基づき、効率的で機能的な人員配置により、限られた経営資源の効率的な活用を図り、職員給与等においては、国や他県の状況、社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて適切な見直しを行っていく。



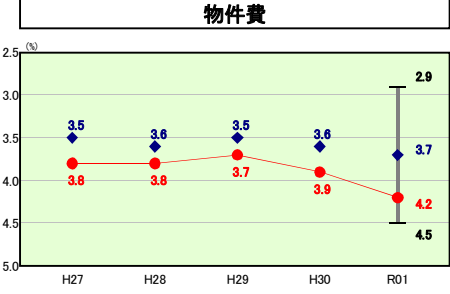
扶助費の分析欄

対象施設の増加に伴う障害者自立支援給付費及び障害児通所給付費の増、児童保護措置費などの増により、対前年度比0.1ポイントずつ上昇している。
 グループ内平均とほぼ同じ割合であるが、今後も社会保障関係経費の増加が見込まれることから、その動向に注視していく。



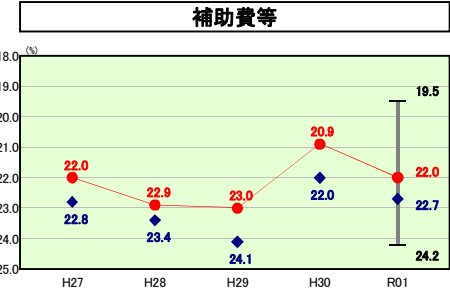
公債費の分析欄

借換債の活用による公債費の平準化などの取組により、改善傾向にあり、R元年度は対前年比△0.7ポイントとなった。
 グループ内平均と比較して、1.8ポイント下回っているものの、引き続き、県債残高やプライマリーバランスに留意しながら、県債の有効活用と公債費の平準化に取り組んでいく。



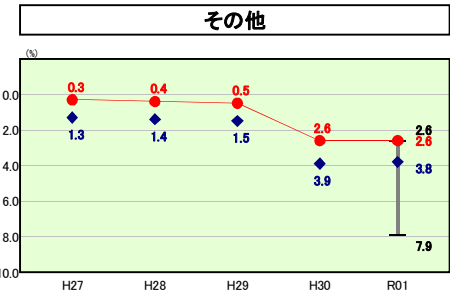
物件費の分析欄

R元年度は、ICT関連経費などの増加に伴い、0.3ポイントの上昇となっている。
 グループ内平均に比べ高い割合で推移しており、事業の選択と集中や効果的な事業執行、事業の見直しを行うことで、財政健全化を図っていく。



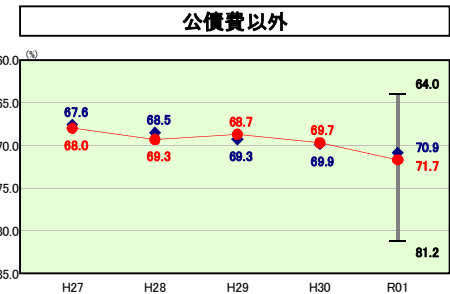
補助費等の分析欄

H30年度は国民健康保険制度の改正に伴い、市町に交付していた調整交付金が皆減したことにより、大幅に減少しているが、R元年度は介護給付費負担金、後期高齢者医療給付費負担金などの増により、1.1ポイント上昇した。
 補助費等の傾向としては、今後も社会保障関係経費の増加により、上昇が見込まれることから、社会保障の充実には適切に対応しつつ、補助金等の重点化や見直しを行うことで、財政健全化に努めていく。



その他の分析欄

H30年度は国民健康保険制度の改正に伴い、新たに設置した国民健康保険事業特別会計への繰出金が生じることにより、2.6ポイントと大幅に上昇しているが、R元年度は同程度で推移している。
 グループ内平均よりも低い割合で推移しているものの、引き続き、H27年度に策定した「佐賀県ファシリティマネジメント基本方針」に基づき、県有施設の長寿命化を図り、適切な維持管理などに努めていく。



公債費以外の分析欄

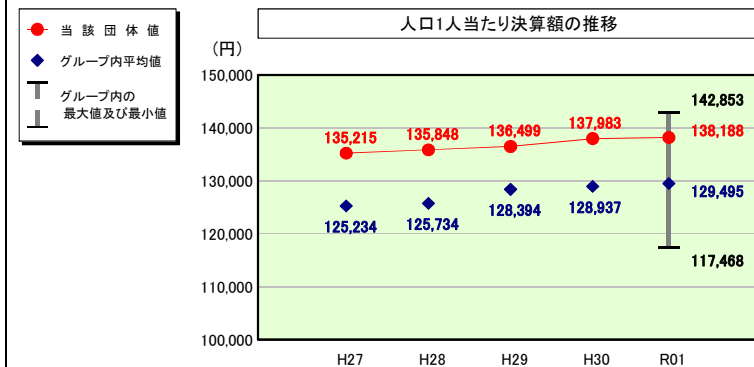
R元年度は、退職手当基金の充当がなかったことによる一般財源の増、介護給付費負担金及び後期高齢者医療給付費負担金などの増により、2.0ポイント上昇した。
 都道府県平均、グループ内平均よりも高い割合となっていることから、「佐賀県行政運営計画2019」に基づき、財政健全化に努めていく。

(4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

令和元年度

佐賀県

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

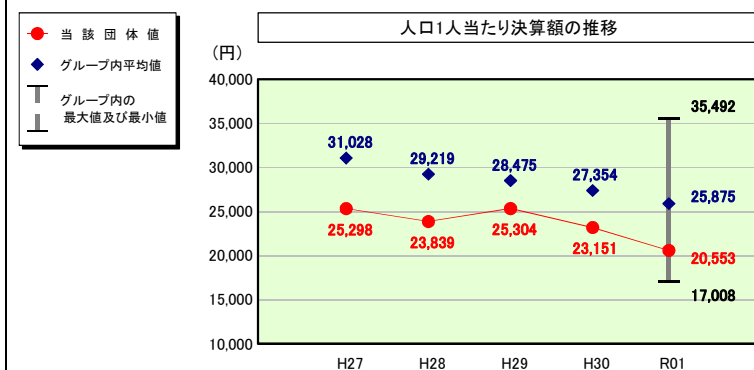
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
人件費	122,732,386	148,981	137,642	▲ 8.2
賃金 (物件費)	121,624	148	356	▲ 58.4
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	821	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	-	-	4	-
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	1,308,105	1,588	2,718	▲ 41.6
▲退職金	▲ 10,321,700	▲ 12,529	▲ 12,046	▲ 4.0
合計	113,840,415	138,188	129,495	6.7

参考

	当該団体	グループ内平均	対比 (差引)
人口100,000人当たり職員数 (人)	1,608.99	1,466.01	142.98
ラスバイレス指数	100.0	98.8	1.2

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

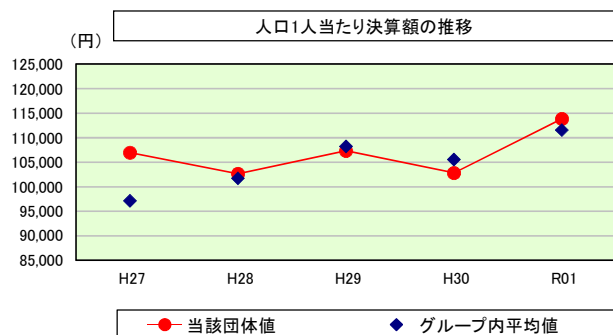
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	61,179,278	74,264	72,769	2.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	2,000,000	2,428	4,467	▲ 45.6
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	-	-	1,780	-
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	164	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,122,076	1,362	647	110.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	70	0	2	▲ 100.0
▲特定財源の額	▲ 2,808,854	▲ 3,410	▲ 2,529	34.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 44,560,426	▲ 54,091	▲ 51,424	5.2
合計	16,932,144	20,553	25,875	▲ 20.6

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

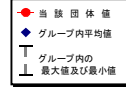
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	グループ内平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H27	90,123,967	106,978	▲ 8.8	97,161	2.6	▲ 11.4
うち単独分	34,028,269	40,392	▲ 16.1	26,543	6.6	▲ 22.7
H28	86,029,051	102,663	▲ 4.0	101,731	4.7	▲ 8.7
うち単独分	30,700,988	36,637	▲ 9.3	26,906	1.4	▲ 10.7
H29	89,438,703	107,334	4.5	108,224	6.4	▲ 1.9
うち単独分	32,981,386	39,581	8.0	27,358	1.7	6.3
H30	85,218,399	102,824	▲ 4.2	105,585	▲ 2.4	▲ 1.8
うち単独分	33,210,547	40,072	1.2	26,225	▲ 4.1	5.3
R01	93,797,091	113,858	10.7	111,577	5.7	5.0
うち単独分	36,850,485	44,732	11.6	26,257	0.1	11.5
過去5年間平均	88,921,442	106,731	▲ 0.4	104,856	3.4	▲ 3.8
うち単独分	33,554,335	40,283	▲ 0.9	26,658	1.1	▲ 2.0

(5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和元年度

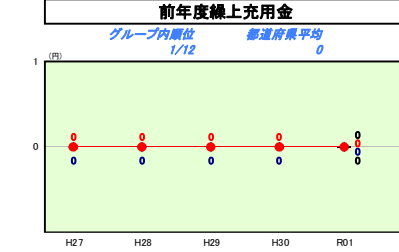
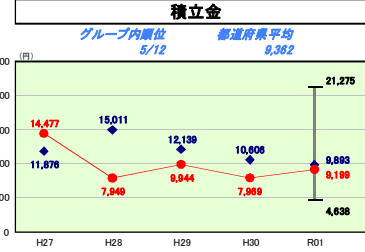
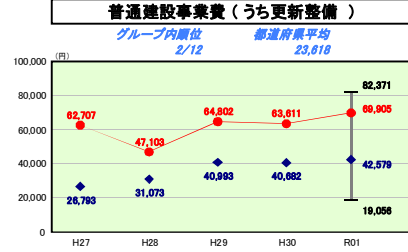
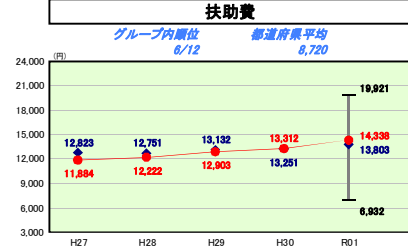
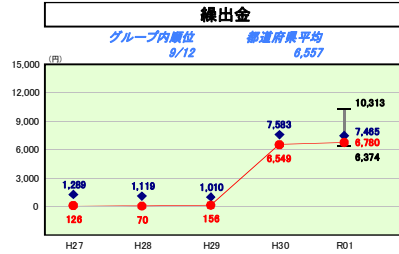
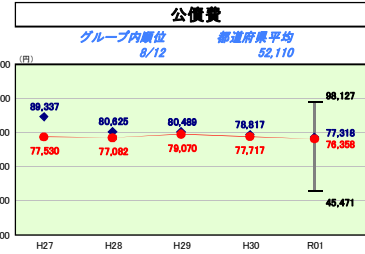
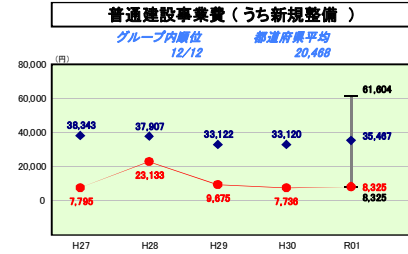
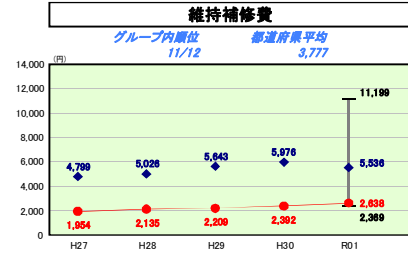
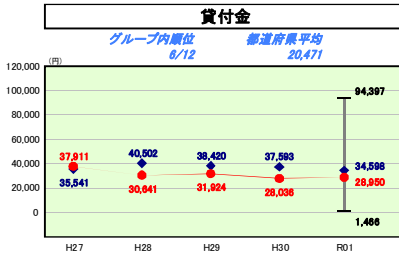
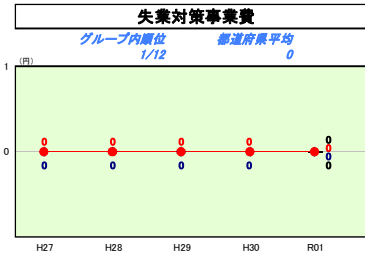
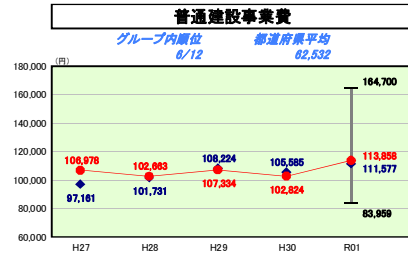
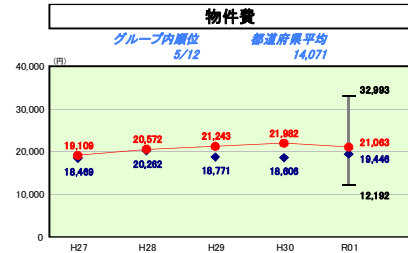
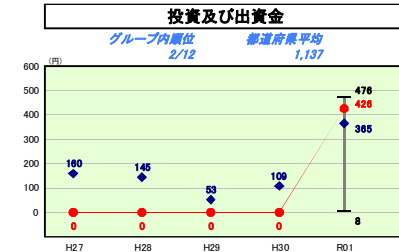
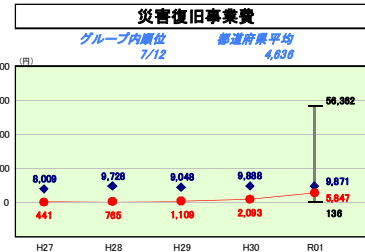
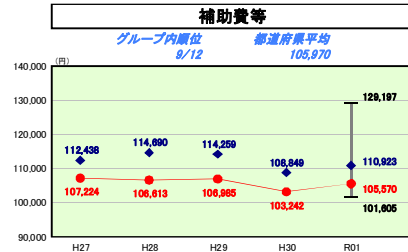
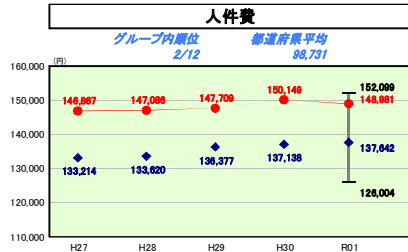
佐賀県

人口	823,810人(政.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	816,695人(政.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	2,440.70千㎡	実質公債費比率	9.0	%
歳入総額	451,011,101千円	実質負担比率	115.0	%
歳出総額	439,921,412千円	グループ	H27 D H28 D H29 D	
歳入増収	5,479,227千円	(年度毎)	H30 D R01 D	
標準財政規模	255,840,916千円			
地方債現在高	697,351,046千円			



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1,000以上、Bグループ 0,500以上1,000未満、Cグループ 0,400以上0,500未満、Dグループ 0,300以上0,400未満、Eグループ 0,300未満]

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

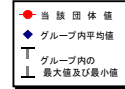
・歳出決算の総額は、住民一人当たり534,008円となっている。主な構成要素である人件費は住民一人当たり148,981円となっており、昨年度に比べて1,168円の減額となっている。これは、定年退職者の減による退職手当の減等によるものである。同一グループ内において、人口規模が小さいため、住民一人当たりの人件費はグループ内平均に比べ高くなっている。
 ・普通建設事業費については、以前はグループ内平均に比べ高い水準だったが、「佐賀県行財政運営計画2015」及び「佐賀県行財政運営計画2019」等により投資的経費の総額を段階的に抑制しつつ、計画的な事業執行を図ってきたことから、近年はグループ内平均と同程度の水準となっている。また、新規整備と更新整備においてグループ内の乖離が生じているのは、新規公共施設等を整備するための経費を絞って選別していることが主な要因である。
 ・投資及び出資金については、各都道府県の拠出金で設置している被災者生活再建支援基金について、H23年度以来となる追加拠出を行ったため、皆増となっている。

(6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和元年度

佐賀県

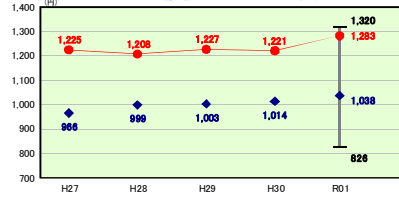
人口	823,810人(政.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	816,695人(政.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	2,440.70km ²	実質公債費比率	9.0	%
歳入総額	451,011,101千円	将来負担比率	115.0	%
歳出総額	439,921,412千円	グループ	H27 D H28 D H29 D	
歳入歳出	5,479,227千円	(年度毎)	H30 D R01 D	
標準財政規模	255,840,916千円			
地方債現在高	697,351,046千円			



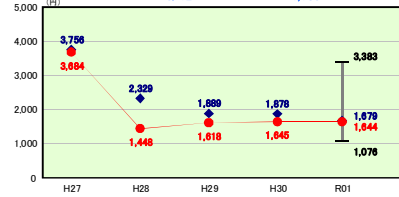
※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。

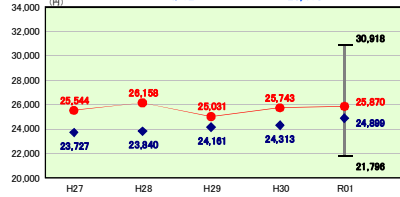
議会費
 グループ内順位 2/12 都道府県平均 814



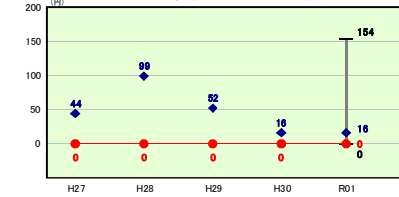
労働費
 グループ内順位 6/12 都道府県平均 1,188



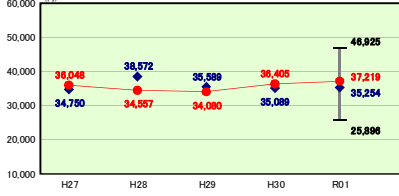
警察費
 グループ内順位 4/12 都道府県平均 26,418



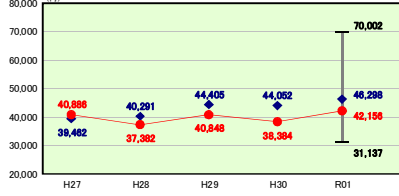
諸支出金
 グループ内順位 4/12 都道府県平均 249



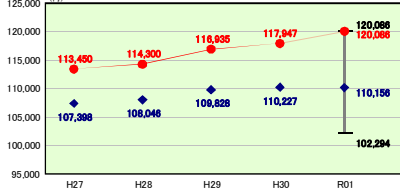
総務費
 グループ内順位 6/12 都道府県平均 24,433



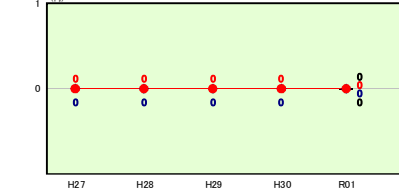
農林水産業費
 グループ内順位 9/12 都道府県平均 19,173



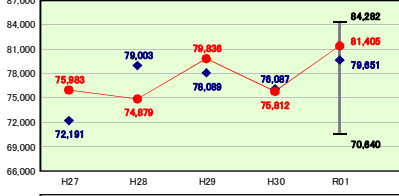
教育費
 グループ内順位 1/12 都道府県平均 80,078



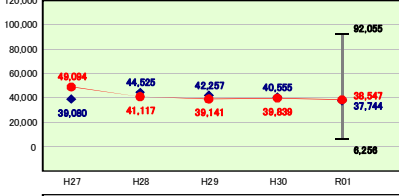
前年度繰上充用金
 グループ内順位 1/12 都道府県平均 0



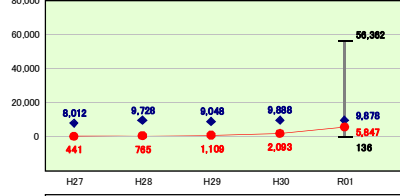
民生費
 グループ内順位 4/12 都道府県平均 84,382



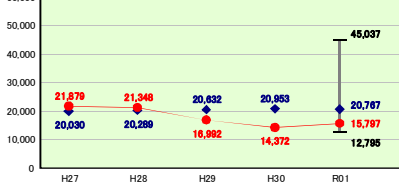
商工費
 グループ内順位 6/12 都道府県平均 23,844



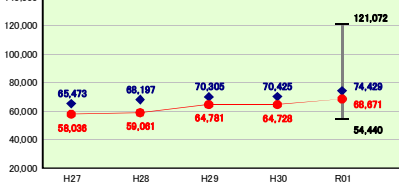
災害復旧費
 グループ内順位 7/12 都道府県平均 4,647



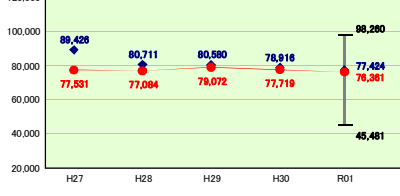
衛生費
 グループ内順位 6/12 都道府県平均 12,438



土木費
 グループ内順位 7/12 都道府県平均 46,441



公債費
 グループ内順位 8/12 都道府県平均 52,278



目的別歳出の分析

- ・議会費は住民一人当たり1,283円となっており、類似団体と比較して一人当たりのコストが高い状態が続いている。これは、類似団体と比較して住民一人当たりの議員定数が多いことが主な要因である。
- ・衛生費は住民一人当たり15,797円となっており、グループ内平均に比べ低い水準であるものの、前年度に比べて住民一人当たりのコストが上昇している。これは、佐賀県医療センター好生館運営費負担金など補助費等が増加したことが主な要因である。
- ・農林水産業費は住民一人当たり42,156円となっており、グループ内平均に比べ低い水準であるものの、前年度から増加している。これは、国補正予算に対応した農村地域防災減災事業費の増加等により、普通建設事業費が増加したことが主な要因である。
- ・警察費は住民一人当たり25,870円となっており、グループ内平均と比べて高い水準となっている。これは、警察署の再編整備による庁舎の改装が主な要因であるが、平均との差は工事の進捗により減少している。
- ・教育費は住民一人当たり120,086円となっており、グループ内平均に比べ高止まりしているのは、ICT教育に係る経費(物件費、普通建設事業費など)が他団体と比べ大きいことが主な要因と考えられる。

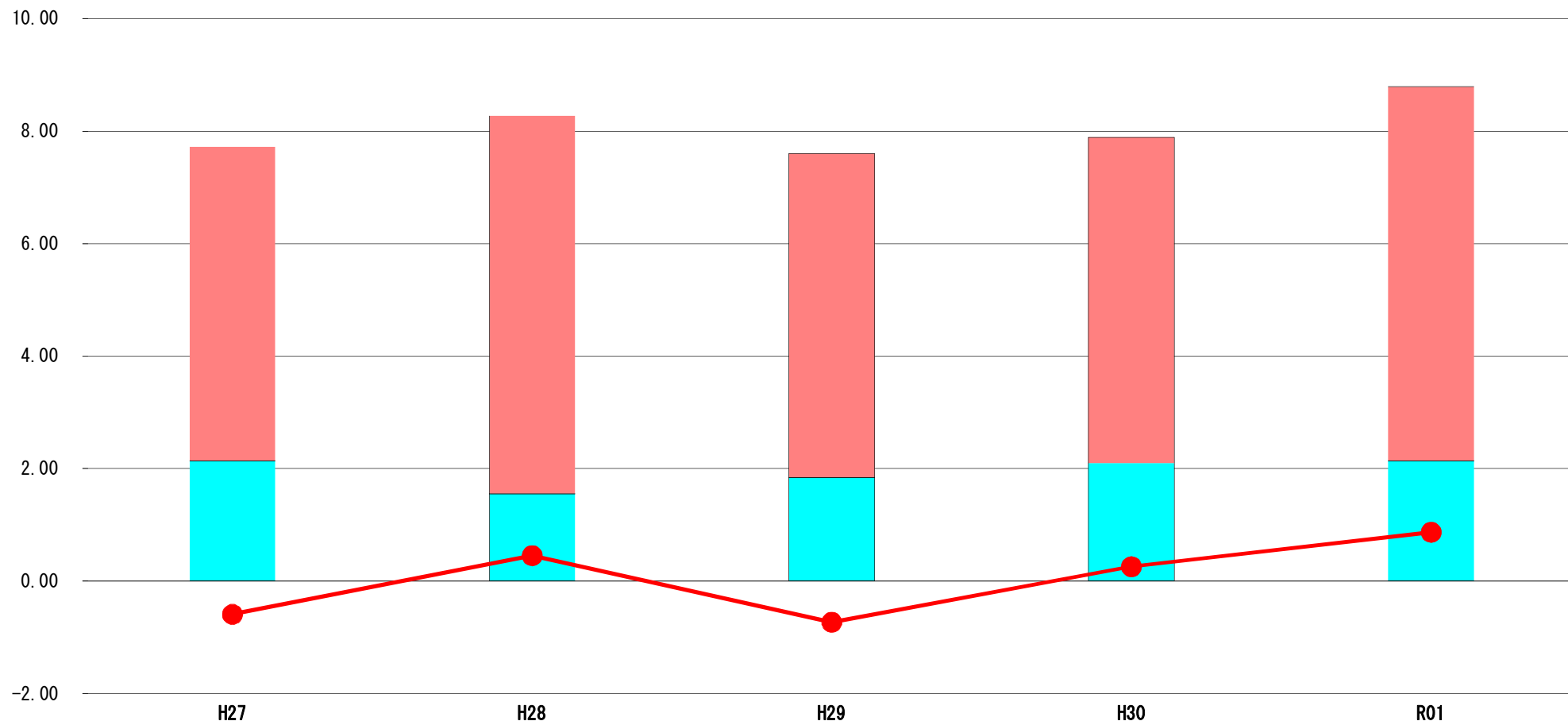
また、昨年度に比べて住民一人当たりのコストが上昇している主な要因は、佐賀国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設整備等に係る費用の増加にある。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




令和元年度

佐賀県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H27	H28	H29	H30	R01
 財政調整基金残高		5.58	6.72	5.76	5.79	6.65
 実質収支額		2.14	1.55	1.84	2.10	2.14
 実質単年度収支		▲ 0.59	0.45	▲ 0.73	0.26	0.87

分析欄

財政調整基金残高は、「佐賀県行財政運営計画2015」の取組方針に基づき、一定額の基金残高の確保に努めた結果、目標であるH30年度末残高135億円を上回る160億円を確保したところ。

なお、R元年度については、収支調整のための取崩しをした一方、決算剰余金の積立等により、前年度比で0.86ポイント増となっている。

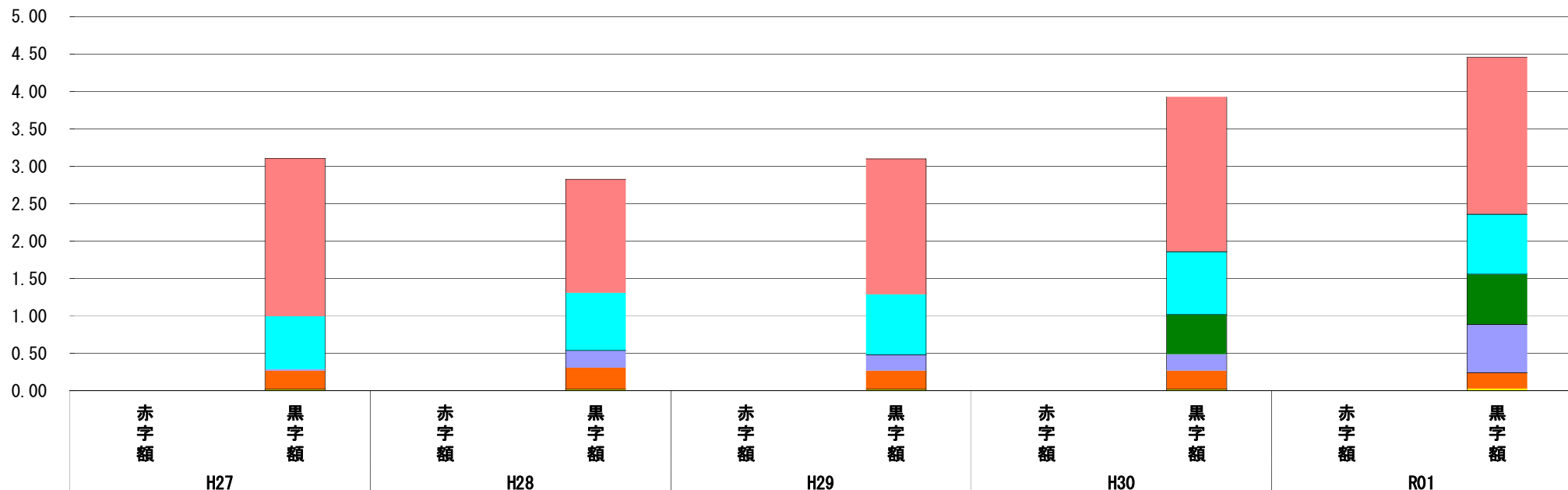
実質収支額は、前年度比でほぼ横ばいとなっており、昭和51年度以降黒字となっている。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

令和元年度

佐賀県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度				
	H27	H28	H29	H30	R01
一般会計	2.11	1.52	1.81	2.07	2.10
佐賀県工業用水道事業会計	0.71	0.77	0.81	0.84	0.80
国民健康保険事業特別会計	-	-	-	0.53	0.67
佐賀県産業用地造成事業特別会計	0.02	0.23	0.21	0.22	0.65
佐賀県港湾整備事業特別会計	0.25	0.29	0.25	0.25	0.21
証紙特別会計	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03
災害救助基金特別会計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
母子父子寡婦福祉資金特別会計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
その他会計（黒字）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

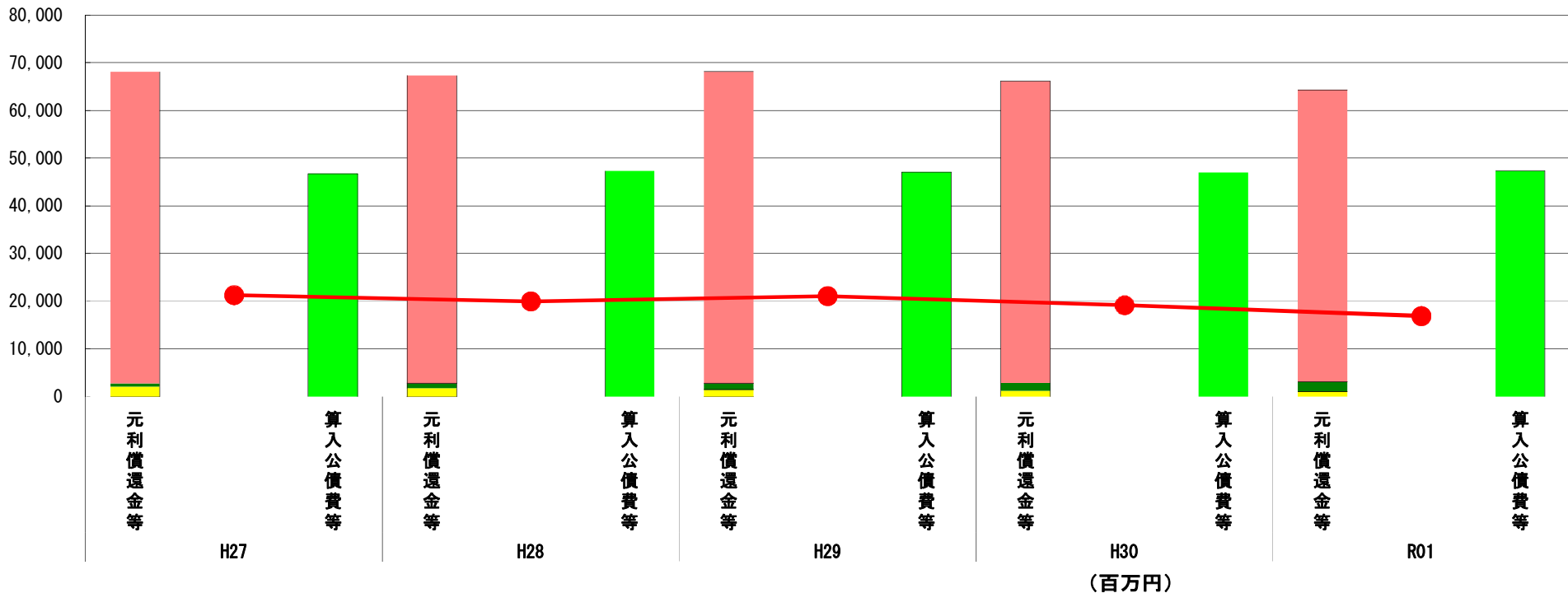
いずれの会計も黒字であり、連結実質赤字比率は発生していない。
 一般会計の実質収支比率は、前年度比でほぼ横ばいとなっている。
 産業用地造成事業特別会計の実質収支比率は、分譲面積の増に伴い土地収入見込額が増加したことから、0.4ポイント改善している。
 一定の財政健全化は確保できているが、「佐賀県行財政運営計画2019」に基づき、引き続き持続可能な財政運営を行っていく。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

令和元年度

佐賀県

(百万円)



分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
元利償還金等 (A)	元利償還金		65,279	64,534	65,338	63,273	61,179
	減債基金積立不足算定額※		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		667	1,000	1,333	1,667	2,000
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	-	-	-	-
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		2,108	1,788	1,507	1,249	1,122
	一時借入金の利子		9	4	1	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		46,749	47,350	47,094	47,002	47,369
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		21,314	19,976	21,085	19,187	16,932

分析欄

元利償還金等が減少したことから、実質公債費比率の分子は減少している。

元利償還金等の減少は、主に公共事業等債に係る元利償還金の減少や、国営土地改良事業の減少による債務負担行為に基づく支出額の減少が要因である。

今後、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催にむけた施設整備をはじめとした将来の佐賀の発展のために必要な大型事業の実施による県債発行の増加に伴い、後年度の公債費の増加が見込まれるため、30年償還の県債を発行し、公債費の平準化を図るとともに、後年度に財政措置のある地方債を活用するなど歳入確保対策の強化や徹底した歳出の見直し等を行うことで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

(参考)

(百万円)

※ 減債基金積立状況等		年度	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末
	減債基金残高 (注)		0	0	0	588	1,765
	減債基金積立相当額		333	1,000	2,000	3,333	5,000

分析欄

減債基金積立相当額の積立ルールが30年償還で毎年度の積立額を発行額の30分の1として設定しているのに対して、本県においては17年償還（3年据置）で毎年度の発行額の積立額を17分の1として設定しているため、減債基金残高と減債基金積立相当額に乖離が生じている。

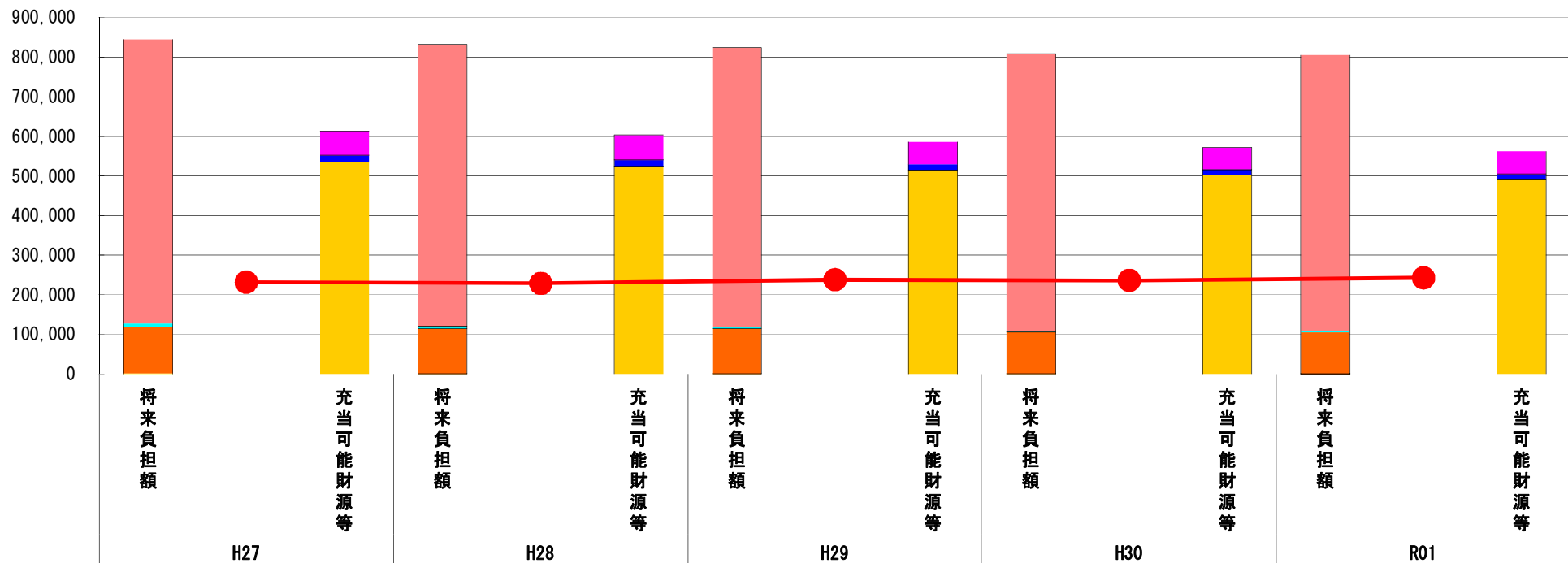
(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

令和元年度

佐賀県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		717,553	711,667	704,829	699,034	697,940
	債務負担行為に基づく支出予定額		7,964	6,183	4,826	3,735	2,552
	公営企業債等繰入見込額		-	-	-	-	-
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		118,202	113,726	114,018	105,217	104,420
	設立法人等の負債額等負担見込額		1,205	768	766	557	540
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	18
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		60,804	62,932	56,911	55,656	57,673
	充当可能特定歳入		16,108	15,258	14,769	13,892	12,297
	基準財政需要額算入見込額		536,033	525,119	514,771	502,537	492,469
(A) - (B)	将来負担比率の分子		231,979	229,034	237,987	236,457	243,031

分析欄

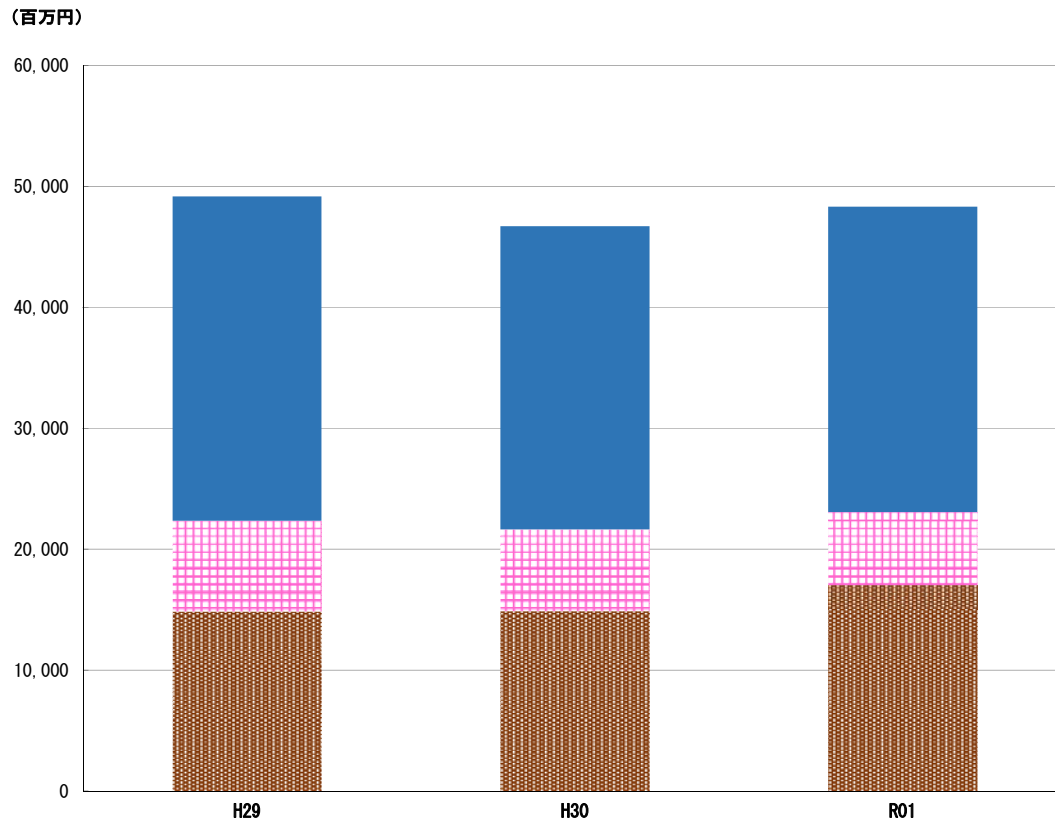
将来負担額について、一般会計等に係る地方債現在高の減少や、国営土地改良事業費負担金の減少などがあるものの、基準財政需要額算入見込額の減少などにより、将来負担比率の分子は増加している。

一般会計等に係る地方債の現在高の減少は、臨時財政対策債の減少や、公共事業等債の減少による。

基準財政需要額算入見込額の減少は、主として財政対策債償還費に係る算入見込額の減少によるものである。

今後、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催にむけた施設整備をはじめとした将来の佐賀の発展のために必要な大型事業の実施による県債発行の増加が見込まれるため、県税収入をはじめとする歳入確保対策の強化や徹底した歳出の見直し等を行うことで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）



(百万円)

区分	年度	H29	H30	R01
財政調整基金		14,858	14,882	17,020
減債基金		7,507	6,735	6,041
その他特定目的基金		26,803	25,092	25,266
大規模施設整備基金		8,896	9,803	9,616
佐賀県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金		2,000	3,002	4,006
地域づくり基金		1,942	1,923	1,858
地域医療介護総合確保基金		2,530	2,301	1,820
後期高齢者医療財政安定化基金		1,361	1,510	1,657
基金残高合計		49,167	46,709	48,328

令和元年度

佐賀県

基金全体

(増減理由)

土地開発基金を20億円取り崩した一方、決算剰余金を26億円積み立てたこと、佐賀県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金に10億円積み立てたこと等により、基金全体としては16億円の増となった。

(今後の方針)

特定目的基金の規模の適正化を図り、戦略的に活用する。また、「佐賀県行財政運営計画2019」において、令和4年度末の財源調整用基金残高を約130億円（標準財政規模の5%程度）確保する目標としている。

財政調整基金

(増減理由)

収支調整のための取崩しをした一方、決算剰余金の積立て等により21億円の増となった。

(今後の方針)

「佐賀県行財政運営計画2019」において、令和4年度末の財源調整用基金残高を約130億円（標準財政規模の5%程度）確保する目標としている。

減債基金

(増減理由)

減収補填債、退職手当債、行政改革推進債の償還に伴う取崩しにより7億円の減となった。

(今後の方針)

特になし

その他特定目的基金

(基金の使途)

- ・大規模施設整備基金：県が設置する大規模な公用又は公共用の施設の整備
- ・佐賀県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金：国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の円滑な運営
- ・地域医療介護総合確保基金：地域における医療及び介護の総合的な確保のための事業の実施
- ・地域づくり基金：地域の特性を生かした快適で活力ある地域づくりの長期的かつ安定的な推進
- ・後期高齢者医療財政安定化基金：後期高齢者医療の財政の安定化に資する

(増減理由)

- ・大規模施設整備基金：地方創生拠点整備交付金の取り崩しにより2億円の減
- ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金：新規積立により10億円の増
- ・地域医療介護総合確保基金：回復期機能病床整備事業等実施などにより5億円の減
- ・地域づくり基金：離島振興基金造成費等補助（七色の島づくり事業）などにより1億円の減
- ・後期高齢者医療財政安定化基金：前期高齢者交付金及び後期高齢者医療拠出金の積立てなどにより1億円の増等により、その他特定目的基金全体としては2億円の増となった。

(今後の方針)

- ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金：収支の状況を踏まえ、毎年10億円を積立予定